



# 駒本の力

駒本小学校（家）

教育活動紹介便り

校長 田中 克昌

NO. 20

平成28年2月15日

## 「どの子ども伸ばす、駒本の教育」 9

校長 田中 克昌

「どの子ども伸ばす、駒本の教育」も9回目になりました。今回から授業のユニバーサルデザイン化から個に応じた支援について解説します。現在、本校では情緒固定学級のむくの木学級、情緒通級指導学級のいずみ学級の教員たちと協力し、子どもたち一人一人の課題に応じた個別的な配慮を進めてきています。ユニバーサルデザイン化でカバーできる部分と個に応じた配慮によってカバーできる部分を増やし、どの子ども伸ばす教育の実現に向けて取り組んでいます。

### 【個に応じた支援】

本校では以下のような苦手がある子どもたちに対して、支援を行っています。

1. 集中を続けることが苦手
2. 指示を聞いて行動することが苦手
3. 手先の作業が苦手
4. 指示や約束を実行するのが苦手
5. 板書をとることが苦手

左のような苦手なことがあると、授業のユニバーサルデザイン化だけでは、カバーすることは難しくなりますので、個に応じた支援が必要となります。現在、子どもたち一人一人の特徴を把握しながら、支援の有り様を考え、実行しているところです。

### 【1. 集中を続けることが苦手】

次のような特徴が観られたら、集中を続けることが苦手として考えています。

- ① 教科書を開いているときに、他のページが気になって見入ってしまう。
- ② 途中で飽きてしまったり、意欲が低下して作業が最後までできない
- ③ 授業中や給食中、最後まで座ってられない
- ④ 先生が話しているときに、注意を向け続けることができない

〔支援方法〕支援の方法としては、以下のようなことを考えています。

- ① 刺激になるようなものは片づけ、環境を整備し刺激量を少なくする。
- ② 視覚化の工夫で注意を向けるタイミングを分かりやすく伝える。
- ③ 焦点化の工夫で本人にとって分かりやすい言葉で説明する
- ④ どのように活動したらよいかのイメージをもたせるために、見本や手本を示す
- ⑤ 配り係、準備係など身体を動かすような役割についてもらう
- ⑤ 構造化の工夫として学習過程を明確にして構造化された授業を構成する

以上6点ですが、ほとんどはユニバーサルデザイン化と共通していますが、本人の苦手度に応じて、その支援を定めていくことが大切です。集中を続けさせるためには、教員の指導力や授業力を向上させることが必要不可欠です。その上での個に応じた支援です。

## イトコメガネの一行詩の取組

2月の一行詩の取組は、「イトコメガネの一行詩」です。前回の「大切な友だちへの一行詩」をさらに発展させて、友だちや自分に関わるおとなの人の良いところをたくさん見つけて、一行詩にしていきます。人とのコミュニケーションにおいて、ポジティブであり、アサーティブである子どもたちを育てていきたいと願っています。

### イトコメガネの一行詩作品集

\*きゅうしょくの先生は、いつもみんなのために、おいしいきゅうしょくをつくってくれて、いつもみんなげん気いっぱいです。

\*いつも朝、校長先生だけでなく、ともだちもほかの先生もあいさつをしてくれた。そうしたらいい気もちになってくる。

\*ともだちときょうそうしてかったら「すごいね」って言ってくれた。じぶんがまけたのにほめられるのはすごいなと思った。ぼくもまけてもほめなきゃと思った。

\*はさみがなくてこまっていると、〇〇ちゃんがなにも言わずにかしてくれた。私もこまっている人がいたらたすけてあげたいと思います。

\*〇〇先生がやさしく楽器の使い方を教えてくれたので、音楽会ではすてきなえんそうができました。

\*校長先生が全校朝会の時、いつもすてきなお話をしてくれるので、私はうれしい気持ちになった。

\*交通誘導員さんが朝「いってらっしゃい」と言ってくれたからますます元気が出た。

\*〇〇さんは、わたしが悩みをもっている時、助けてくれるね。そのおかげで、心が強くなったんだよ。

\*寒い日に父が自転車の練習につきあってくれて、自転車にのれるようになった。ありがとう。

\*〇〇先生は三年一組の子のために、ずーっと授業の準備をしてくれているので、だからすごく勉強が分かりやすいです。

\*そうじの班長の〇〇さんは、分からないことがあるとすぐ教えてくれるよ。

\*けがをした時、友達が「大丈夫？保健室まで送るよ？」と言ってくれた。すごくうれしかった。

\*クラスみんなはいつも元気で大きな声で、あいさつをします。なのでぼくもあいさつができます。

\*友達がゆすり合いをしていたよ。それを見ていた人がゆすり合いをするようになった。

\*私の友達は、積極的にあいさつをしたり、一生懸命にそうじをしたり励ましている。その子のおかげでクラスは明るい。

\*毎日、六人分の料理を作ってくれるお母さん。毎日六人分の洋服を洗ってくれるお母さんがいるから、楽しい生活をすごせている。

\*私の友達は字を大きくはっきり書いているよ。私はその字をお手本にして、はっきり字を書くようになったよ。

\*縦割り班の一二年生は、みんな明るくいつも笑わせてくれるので、みんな気持ちが楽になるよ。

\*会うと手をふって声をかけてくれる二年生の〇〇君がいる。その子はとても元気で、元気を分けてくれている気がする。

\*うちの父ちゃんは人間自動社会問題出題機です。そのおかげで社会の成績が良くなりました。